

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援フレンズ元山		
○保護者評価実施期間	一年 一月 一日		～ 一年 一月 一日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	利用者がいないため行っていません	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 12月 1日		～ 2026年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人、ご家族と信頼できる関係を築き、 個々の目標に向かって、楽しみながら自らの力で 表現、自立出来るようサポート、ご家族と一緒に成長を 見守り喜びを分かち合えるアットホームな環境を提供していき ます	信頼関係を築けるようご家族と、定期的なモニタリング、 茶話会などを開催し、開かれた事業所を目指しています また、児童発達支援管理責任者を中心に、個々の思いや、 願いに添えるよう、個別支援会議で話し合い心豊かな より良い支援に結びつくよう取り組んでいます	気が付があった場合は、都度皆で話し合い支援方法の 確認、改善に繋がっていきます
2	社内研修、県、市の研修にスタッフ全員が積極的に参加し支援 の質の向上を図っています	毎月のミーティング時に研修内容を振り返り 業務の効率化、支援の質の向上に取り組んでいます	研修やミーティングに参加できなかった職員には、 個別に内容を伝え、全員が同じ思いで支援出来るよう 心掛けていきます
3	子どもたちが快適に過ごせるよう、毎日の支援室衛生、 スペースの使い方、安全対策など、工夫し支援活動を 行っています	子どもたちが来所するまでの換気、車いすや座位保持椅子の配 置や支援活動終了時の掃除、消毒を徹底し 定期的な訓練、BCP計画の見直しなどを行い、 安全、快適に過ごせるよう取り組んでいます	訓練時に、役割分担の確認、定期的なBCP計画の見直し、 職員全員の理解と周知を行っていきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	座位保持いす車いすを利用する子どもの割合から 支援活動スペースが十分ではないことです	在籍している子どもたちの大半が、 車いすや、座位保持椅子を必要とするため、 十分なスペースが確保しにくい状況です	活動内容によって、車いすや座位保持いすを別室に 移動する等し、活動スペースを広げ、安全第一に 支援活動を行っていきます
2	第三者による外部評価を行っていません	外部評価を行っていないことで、 業務内容、支援活動等の客観的な視点での改善を 図れない状況です	外部評価を行うことで、客観的視点からの 業務内容、支援活動の質の向上が図れると考えています
3	児童クラブや児童館での地域の子どもたちとの交流、 きょうだい児向けのイベント、交流等開催できていません	児童クラブや児童館への訪問は車いす等 利用している在籍児童にはサポートが難しく、 きょうだい児向けのイベントも開催を実現できていない 状況です	今年度は、バリアフリー対応の児童館など検索し、 訪問、また定期的に依頼している「よみがたり」の開催を きょうだい、地域の方々にも周知して交流の場を 設けたいと思います

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援フレンズ元山		公表日		2026年 1月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	対象児童がいらないため何も行ってないが活動内容に合わせて都度工夫しスペースを活用していきます	活動スペースの整理整頓を行い、安全第一に活動していきます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		対象児童がいらないため何も行ってないが子どもの特性、活動内容に適切な配置で支援します	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		個々の特性に合わせたツールを作成し提示していきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	活動後の清掃、消毒、整理整頓、必要に応じ玩具の片付けや配置換えを行い、活動に合わせたマットや座位保持いすを設置し活動します		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	必要に応じて、相談室を、個別に対応する支援室として使用します		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	個別支援計画書を基に、スタッフ全員でPDCAサイクルに参画していきます		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	結果を職員全員で共有し、ミーティング等話し合いの場を設け、改善策など話し合います		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々、活動後に報告し合ったり、月一回のミーティングで意見交換、問題点など話し合い、改善につなげていきます		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現時点で外部評価を行っていないので、今後の課題とします	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	外部や松戸市障害福祉課が主催する研修に積極的に参加し、不参加者にも共有していきます		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページに掲載し、教室内にも掲示しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	現在対象児がいらないが、アセスメントを適切に行い、得たニーズを基に分析し、計画書作成を行います		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	日々の活動や、モニタリング出の課題を職員全員から抽出し、共通理解のもと本人のニーズを中心に検討していきます		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	計画書を基に日々の活動や支援方法を決め、共有し、支援に努めていきます		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	活動記録に状況を記録し、5領域に分類されたアセスメントシートを用いて確認していきます		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	ニーズに合わせて、本人支援の他項目に分け具体的な支援方法を設定していきます		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	基本のプログラムを立案後、職員全員でミーティングで話し合い決定していきます		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節や個々の能力に合わせてプログラムを立案し毎週違った活動を、提供していけるよう努めます		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別と集団に分けて目標を設定し、職員全員に分かりやすく提示して支援に努めていきます		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎月のミーティングで支援方法を話し合い不在の職員にも伝わるようグループ連絡ツールを活用し周知、支援に努めていきます		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	振り返り、気付いたことがあった場合は都度共有し、グループ連絡ツールを通じ共有していきます	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	毎日個別の活動記録に内容を記録し、支援内容を検証、改善に繋げるよう努めていきます	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	適切なモニタリングを行い本人と家族のニーズを中心に、見直しを行い、支援につなげていきます	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者がスタッフの意見をとりまとめ、参画していきます	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	医療的ケアが必要な子どもに対しては指示書に沿って看護職員がケアし、保育教育等は、関係機関と連携し支援に努めていきます	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じ、情報共有し、相互理解に努めていきます	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じ情報共有し、相互理解に努めていきます	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	相談員を中心に連携を取り、必要に応じ受ける機会を設けていきます	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	近隣の公共施設を利用し、活動する機会を設けていきたいと思います	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	活動記録や、送迎時などに、活動状況を伝え、必要に応じて、情報共有する場を設けていきます	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	研修会の情報提供や、必要に応じ、支援を行っています	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に説明を行い、必要に応じ、都度管理者によって行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2	定期的に現状、ニーズ等確認し、計画の見直しを行っています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	2	作成した計画書を提示し、保護者と一緒に確認しながら支援内容の説明を行い同意のうえ支援を行っています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	いつでも相談できる良好な関係構築を心掛け面談、必要な助言を行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	父母の会情報や、定期的な茶話会を開催し交流の場を設けていきます	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	必要に応じ迅速に対応できるよう体制整え対応していきます	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	通信を毎月発行、X配信等で、情報を発信していきます	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報書類は施錠管理しています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	必要に応じ迅速に対応できるよう体制整えていきます	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域の方による、よみ語り会等開催し、地域に開かれた事業運営に努めていきます	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	契約時、つうしん、茶話会などで周知し、マニュアルは手に取れる場所に設置しています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎年BCP計画の見直しを行い、年2～3回訓練を行っています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2	必要に応じ、状況確認、変更があった場合には迅速、職員に周知対応していきます	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	必要に応じ、医師の指示書に基づく対応をしていきます	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	年1回の見直しと、計画に沿った必要な訓練を行っています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	契約時や茶話会などで説明、周知していきます	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書はすぐ手に取れる場所に設置速やかに記入、共有し再発防止について検討していきます	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	県や市主催の研修会に参加し、不参加者にも情報共有しています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約時に説明を行い、保護者と共通理解のもと了承を得たうえで計画書に記載します	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスフレンズ元山		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人、ご家族と信頼できる関係を築き、個々の目標に向かって、楽しみながら自らの力で表現、自立出来るようサポート、ご家族と一緒に成長を見守り喜びを分かち合えるアットホームな環境を提供していきます	信頼関係を築けるようご家族と、定期的なモニタリング、茶話会などを開催し、開かれた事業所を目指しています また、児童発達支援管理責任者を中心に、個々の思いや、願いに添えるよう、個別支援会議で話し合い心豊かなより良い支援に結びつくよう取り組んでいます	気がついた場合は、都度皆で話し合い支援方法の確認、改善に繋がっていきます
2	社内研修、県、市の研修にスタッフ全員が積極的に参加し支援の質の向上を図っています	毎月のミーティング時に研修内容を振り返り業務の効率化、支援の質の向上に取り組んでいます	研修やミーティングに参加できなかった職員には、個別に内容を伝え、全員が同じ思いで支援出来るよう心掛けていきます
3	子どもたちが快適に過ごせるよう、毎日の支援室の衛生、スペースの使い方、安全対策など、工夫し支援活動を行っています	子どもたちが来所するまでの換気、車いすや座位保持椅子の配置や支援活動終了時の掃除、消毒を徹底し定期的な訓練、BCP計画の見直しなどを行い、安全、快適に過ごせるよう取り組んでいます	訓練時に、役割分担の確認、定期的なBCP計画の見直し、職員全員の理解と周知を行っています

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	座位保持いす車いすを利用する子どもの割合から支援活動スペースが十分ではないことです	在籍している子どもたちの大半が、車いすや、座位保持椅子を必要とするため、十分なスペースが確保しにくい状況です	活動内容によって、車いすや座位保持いすを別室に移動する等し、活動スペースを広げ、安全第一に支援活動を行っています
2	第三者による外部評価を行っていません	外部評価を行っていないことで、業務内容、支援活動等の客観的な視点での改善を図れない状況です	外部評価を行うことで、客観的視点からの業務内容、支援活動の質の向上が図れると考えています
3	児童クラブや児童館での地域の子もたちとの交流、きょうだい児向けのイベント、交流等開催できませんでした	児童クラブや児童館への訪問は車いす等利用している在籍児童にはサポートが難しく、きょうだい児向けのイベントも開催を実現できていない状況です	今年度は、バリアフリー対応の児童館など検索し、訪問、また定期的に依頼している「よみがたり」の開催をきょうだい、地域の方々にも周知して交流の場を設けたいと思います

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスフレンズ元山
------	------------------

公表日 2026年1月26日

利用児童 2026/1/31

数 10

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3	0	0	あのスペースでたくさん遊びを考 えてくださりありがとうございます	使用していない車いすは別室に移動する 等、活動内容に合わせて都度工夫し十分 なスペースが取れるよう配慮しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	0	0		子ども2名に対し1名のスタッフを配 置し、医療的ケアが必要な子供がいる 場合看護職員を配置しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境に なっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害 特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適 切になされていると思いますか。	9	0	0	0		車いすに対してスロープ等設置し、バリア フリー化、絵カードやカーテンで仕切 るなどの工夫で子どもたちにも分かりや すく提示しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になってい ると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間と なっていると思いますか。	9	0	0	0		活動後の清掃、消毒、整理整頓、必要に 応じ玩具の片付け配置換えを行い、活動 に合わせテーブル、座位保持いすの設置な ど行っています
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専 門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		定期的なモニタリングにより、適切な計 画、支援を行っています お子様の小さな変化、ご相談があればい つでもお問い合わせください
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供す る支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		5領域を踏まえた支援プログラムを 軸に毎月のミーティングで話し合 い、支援内容を考案しています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課 題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 (個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		定期的なモニタリングを行い、ミーテ ィングで話し合い、計画を作成してい ます お子様の小さな変化、ご相談があればい つでもお問い合わせください
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガ イドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」 の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	9	0	0	0		モニタリングにより、保護者、本人 の意向を踏まえ支援計画を設定して います
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると 思いますか。	9	0	0	0		ミーティングで話し合った支援計画 を確認、スタッフ全員で共有し、 日々の支援を行っています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されて いると思いますか。	9	0	0	0		季節や個々の能力に合わせたプログ ラムを立案し、毎週違った活動を提 供しています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこども と活動する機会がありますか。	2	4	1	2		21世紀の森など公共施設を利用し、 地域の子どもたちと交流の場を設けてい ますが、児童クラブや、児童館での交流 は実現できていない状況です 今後地域 の児童館とも交流をしたいと思いま す
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用 者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		契約時に説明を行い、必要に応じ都 度管理者によって説明を行っていま す	
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の 説明がなされましたか。	9	0	0	0		モニタリング時に計画書、新しい計 画書を提示し説明を行っています	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報 提供の機会等が行われていますか。	9	0	0	0	平日昼間開催の為中々参加できな い	研修会の情報提供をお手紙や連絡帳 で提供し、必要に応じ支援を行いま す	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康 や発達の状況について共通理解ができていると思います か。	9	0	0	0		活動記録や送迎時に日々の活動状況 を伝え、必要に応じ情報共有する場 を設けています	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	半年に一度のモニタリング時や要望があれば都度、相談助言等できる体制を整えています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	児童指導員等全ての職員が計画書に基づき、共感した支援を心掛けています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	0	1	平日昼間開催の為中々参加できない 父母の会情報や、定期的な茶話会の開催にて交流の場を設けています 開催日、時間等ご要望等ありましたらご連絡お待ちしております
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0	いつでも相談できる良好な関係構築を図り、必要に応じ迅速に対応できる体制を整えています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0	カード等コミュニケーションツールを使用したり、表情、態度から、気持ちを汲み取れるよう研鑽します
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0	毎月発行ののつうしんやX配信で活動の様子、ホームページでも自己評価の結果等、掲載しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0	個人情報書類などは施錠管理しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0	契約時、茶話会等で周知、訓練の実施はつうしんにて周知しています また、マニュアル、訓練実施記録も手に取りやすい場所に配置しています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	0	0	年4回の非常災害訓練を実施、 年1回マニュアルの見直しを行っています また、訓練の様子をつうしんにて発信しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0	契約時、茶話会等で周知、訓練の実施はつうしんにて周知しています また、マニュアル、訓練実施記録も手に取りやすい場所に配置しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0	速やかに保護者に連絡説明、 ヒヤリハット報告書記入し、 再発防止に努めます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	本年度も皆様の暖かい評価を賜りありがとうございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	今後もスタッフ一丸となつて、笑顔で過ごせる憩いの場を提供していきます

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		フレンズ元山				公表日	2026年 1月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	使用していない車いすは別室に移動する等活動内容に合わせて都度工夫して十分なスペースが取れるようにしています	活動スペースの整理整頓を行い、安全第一に活動していきたいと思えます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	子ども2名に対し、1名のスタッフを配置し医療的ケアが必要な子どもがいる場合は看護職員を配置しています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	車いすに対してスロープなど設置、絵カードやカーテンで仕切るなど子どもたちにもわかりやすく掲示しています	個々の特性に合わせたツールを作成し提示していきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動後の清掃、消毒、整理整頓、必要に応じ玩具の片づけ配置換えを行い、活動に合わせてテーブル、座位保持椅子の設置を行っています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じ、相談室を、個別に対応する支援室として使用しています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	個別支援計画を基にスタッフ全員がPDCAサイクルに参画しています	ミーティング時不在の職員には漏れないよう、報告周知出来るよう徹底します	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	結果を職員全員で共有し、ミーティング等話し合いの場を設け、改善策等出し合っています	不在の職員にも共有できるよう、会議録やLINEなどで伝えていくようにします	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々、活動後に報告し合ったり、月1回のミーティングで意見交換問題点など話し合い、改善につなげています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		現時点、外部評価を行っていないので今後の課題とします	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部や松戸市障害福祉課が主催する研修に積極的に参加し、不参加者にも共有しています	人員の関係から、研修会が午後、職員の休日に当たると出席することが難しが、全員が参加できるよう配慮していきたいと思えます	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページに掲載し、教室内にも掲示しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメントで得たニーズを基に学校での課題も含め分析し、計画書作成を行っています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々の活動やモニタリングでの課題を職員全員から抽出し、共通理解のもと本人のニーズを中心に検討しています		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画を基に日々の活動や支援方法を決め共有し支援を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	日々、活動記録に状況を記録し、5領域に分類されたアセスメントシートを用いて確認しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ニーズに合わせて、本人支援の他項目に分け具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	基本のプログラムを立案後、職員全員でミーティング時に話し合い決定しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節や、個々の能力に合わせてプログラムを立案し、毎週違った活動を提供しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別と集団は分けて目標を設定し、職員全員に分かりやすく提示し、支援をしています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎月のミーティングで支援方法を話し合い当日は出勤時間が異なる為グループLINEを活用し共有、周知した上で支援を行っています	職員全員一緒に話し合える機会が少ないので、不在の職員に伝え漏れないよう心掛けます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了時間が異なる為、振り返りや気付いた事があった場合は、都度情報共有し不在スタッフにもグループLINEを通じて共有しています	職員全員一緒に話し合える機会が少ないので、不在の職員に伝え漏れないよう心掛けます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日個別の活動記録に内容を記録し、支援内容を検証、改善に繋げています	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	適切にモニタリングを行い、本人と家族のニーズを中心に、学校目標確認後、見直しを行い支援につなげています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	様々な遊びの提供だけでなく、子どもが主体となる遊びから、達成感につなげる支援や21世紀の森イベント等参加し基本活動を基に取り入れた支援を行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	制作やおやつ作りなど、子どもが主体となる活動を取り入れ本人の意思を聞いたり話すのが困難な子どもには選択肢を提示し自己決定を促す支援を行っています	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者がスタッフの意見をとりまとめ、参画しています	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	医療的ケアが必要な子どもに対しては指示書に沿って看護職員がケアし、保育、教育等に関しては相談員、学校と連携し支援を行っています	関連機関と連携を取り合っている事を職員全員に周知します	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校送迎の際、その日の情報共有し、その他必要に応じ、年間予定表や、携帯ツールを利用し連携を取っています		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	必要に応じ情報共有し、相互理解に努めています	情報共有し得た情報を職員全員に周知します
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	必要に応じ情報提供を行っています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	相談員を中心に連携を取り必要に応じて連携を取っています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	3	21世紀の森等近隣の公共施設を利用し、地域の子どもたちと交流の場を設けています	児童クラブや、児童館での交流は実現できていない状況です 地域の元山駅ビルの子ども館と交流したいと考えています
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	松戸重症児通所連絡会に参画することで、自立支援協議会と繋がり、情報共有しています	連絡会等出席状況や得た情報等職員に周知していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	活動記録や送迎時に日々の活動状況を伝え必要に応じ情報共有する場を設けています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	研修会の情報提供や必要に応じ支援を行っています	家族等が参加できる研修の情報提供を行っていることを職員にも周知します
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行い、必要に応じ都度管理者によって行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に現状二一ズ学校目標などの確認し計画の見直しを行っています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	モニタリング時には計画書と、新しい計画書を提示し、同意を得ています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	いつでも相談できる良好な関係構築を心掛け、必要に応じ面談助言を行っています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	父母の会情報や定期的な茶話会の開催により交流の場を設けています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	必要に応じ迅速に対応出来るよう体制を整えています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月発行の「つうしん」やX配信で連絡体制等の情報発信を行っています	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報書類は施錠管理しています		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	必要に応じ迅速に対応できるよう体制を整えています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域の方によるよみがたりを開催し、地域に開かれた事業運営を図っています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	契約時、つうしん、茶話会などで周知し、マニュアルは手に取れる場所に設置しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎年BCP計画策定見直し、年2～3回訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	必要に応じ、服薬やてんかん発作の状況を保護者と確認、変更があった場合には速やかに差し替え職員に周知、確認を行っています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		現在該当者はいませんが必要に応じ、医師の指示書に基づく対応をします
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	年1回の見直しと、計画に沿った必要な訓練等を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時や茶話会などで説明、周知しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書はすぐ手に取れる場所に設置し速やかに記入、共有し、再発防止について検討しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	県や、市主催の研修会に参加し、不参加者にも情報の共有を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に説明を行い保護者と共有理解のもと了承を得て計画書に記載しています	